

特例民法法人 日本船舶海洋工学会 平成22年度(第114期)事業報告

(公益社団法人移行のため平成22年4月1日から平成22年10月31日まで7ヶ月間の事業報告)

調査研究事業

【1】学術講演会

1. 春季講演会

平成22年6月7～8日、江戸川区タワーホール船堀において、平成22年春季講演会を開催した。今回は、参加登録費の徴収、講演会論文集のCD-ROM化等、講演会のシステムを一部変えて企画、開催された。講演会では400名を超える参加者のもとに講演発表が行なわれ、また恒例の「シップ・オブ・ザ・イヤー 2009」応募作品の発表会、懇親会を開催し、盛会裏に終了した。

【2】論文集発行

1. 論文審査委員会

委員数：木下健委員長ほか23名

実施事項：

- ・日本船舶海洋工学会論文集第11号の論文審査
- ・日本船舶海洋工学会論文集第12号の論文審査

2. 日本船舶海洋工学会論文集刊行

平成22年6月に表1-1のとおり日本船舶海洋工学会論文集第11号を発行した。

表1-1 日本船舶海洋工学会論文集刊行

	論文数	頁数	発行部数
論文集第11号 (平成22年6月)	26	238	1,000
計	26	238	1,000

【3】英文論文集(Journal of Marine Science and Technology)発行

1. JMST 編集委員会

委員数：藤久保昌彦委員長ほか34名

委員長(Editor-in-Chief)、副編集委員長(Associate Editor)、委員相互の書面交信等により下記の事項を実施した。

実施事項：

- ・JMST Vol.15 No.2～Vol.15.No.3の論文審査と論文掲載

2. JMST 刊行

JMST Vol.15No.2～Vol.15 No.3の2冊を表1-2のとおり発行した。

表1-2 英文論文集(JMST)刊行

	論文数	頁数	発行部数
Vol.15.No.2(平成22年6月)	7	94	550
Vol.15 No.3(平成22年9月)	7	93	550
計	14	187	1,100

【4】研究委員会活動

1. 研究企画委員会

研究活動活性化のため研究企画委員会を2回開催し、下記研究企画を実施した。

回	期日	場所	出席者数	報告件数
第1回	2010.4.26	東京大学	10名	7件
第2回	2010.9.13	学会事務局	7名	8件

- ・プロジェクト研究委員会、ストラテジー研究委員会による時間的・組織的研究を支援促進した。

- ・重点課題研究を審議し支援した。

- ・研究委員会に係る内規案を検討した。

2. 分野研究企画部会

性能運動分野

委員数：安川宏紀委員長ほか10名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第13回	2010.6.1	海上技術安全研究所	11名	10件
第14回	2010.10.18	横浜港湾福利厚生協会	11名	7件

実施事項：

- ・推進性能・運動性能合同研究会の企画、実施
- ・国際・国内会議等の情報交換
- ・新研究委員会設置申請

海洋工学・海洋環境分野

委員数：高木健委員長ほか11名

委員会の開催状況

回	期日	場所	出席者数
第16回	2010.8.3	海上技術安全研究所	6名

実施事項：

- ・新分野開拓のための若手研究者海外調査旅費支援2件

構造・強度、材料・溶接分野

委員数：北村充委員長ほか7名

実施事項：

- ・支部研究会との情報交換と協力
- ・材料・溶接研究会活動報告、平成22年8月27日東京大学、参加者数：21名

設計・艦装分野

委員数：荒井誠委員長ほか10名

委員会の開催状況

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第1回	2010.4	書面審議	10名	1件
第2回	2010.7	書面審議	10名	2件

実施事項：

- ・プロジェクト研究委員会の審査
- ・プロジェクト研究委員会P-30、P-32、P-33の立上げ

工作分野

委員数：青山和浩委員長ほか10名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第4回	2010.5.19	学会事務局	7名	6件

実施事項：

- ・JSQS改訂のための打合せ
- ・建造革新研究会活動報告 平成22年6月17日、ユニバーサル造船事業所、参加者数：41名

情報技術分野

委員数：大和裕幸委員長ほか 10 名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第 1 回	2010.9.14	九州大学	9 名	3 件

実施事項：

- ・情報技術研究会の活動スケジュール審議
- ・次期研究テーマの選定についての審議

3. プロジェクト研究委員会

平成 22 年度に新たに設置された 5 件の研究委員会(P-29～P-33)を新たに設置し重要技術課題の検討を実施した。平成 22 年度に活動を終了した研究委員会は 1 件 (P-20) である。各委員会の活動は以下のとおりである。

P-20 宗谷海峡の船舶航行リスク評価研究委員会

委員数：井上欣三委員長ほか8名

実施事項：

- ・サハリンプロジェクトフォーラム、2010年9月5日、稚内総合文化センターにて「宗谷海峡(カバルズ海峡)の船舶航行リスク」について研究委員会成果の発表
- ・研究報告書作成：「宗谷海峡の船舶航行リスク評価研究委員会報告」、発行期日:2010年9月、87頁

P-22 海洋再生可能エネルギーの実用・利用に向けた企画立案検討研究委員会

委員数：鈴木英之委員長ほか 16 名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第 5 回	2010.6.2	東京大学	6 名	4 件
第 6 回	2010.8.2	海上技術安全研究所	9 名	9 件

実施事項：

- ・海洋再生エネルギーの最新状況調査
- ・海洋再生可能エネルギー利用装置の実証実験のための共同実験場の可能性の検討
- ・大規模投資による実証実験の提案検討

P-23 東アジア物流ネットワーク研究委員会

委員数：末岡英利委員長ほか 9 名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数
第 8 回	2010.6.7	タワーホール船堀	16 名
第 9 回	2010.8.27	東京大学	6 名

実施事項：

- ・東アジア物流の現状・将来動向調査
- ・モデルケース設定と最適化検討
- ・東アジア物流ネットワーク将来像提言 (IT 化)
- ・春季講演会「OS-7 東アジアの物流ネットワークを考える」開催

P-24 強非線形流体・構造連成解析研究委員会

委員数：柏木正委員長ほか 11 名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第 3 回	2010.9.24	九州大学	6 名	6 件

実施事項：

- ・当該研究分野の研究報告と現状把握

P-25 海洋の大規模利用に対する包括的環境影響評価普及推進研究委員会

委員数：大塚耕司委員長ほか14名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第25回	2010.7.28	大阪府立大学	9名	3件

実施事項：

- ・包括的環境影響評価のケーススタディ
- ・環境 - 経済統合換算係数の理論的裏づけ
- ・包括的環境影響評価Triple Iの普及に向けての情報発信

P-26 次世代造船システムの構想設計に関する研究委員会

委員数：梶原宏之委員長ほか42名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第2回	2010.5.24	三井造船千葉事業所	25名	1件
第3回	2010.9.15	九州大学	21名	2件

実施事項：

- ・造船CIMS報告書に関するアンケートの実施
- ・次世代造船システムのミッションの策定
- ・次世代造船システムのミッション達成方策の検討

P-27 弾性振動を含む動的荷重を考慮した船体強度評価に関する研究委員会

委員数：深沢塔一委員長ほか13名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第1回	2010.6.2	東京大学	9名	9件

実施事項：

- ・直接計算による設計荷重評価の検討
- ・弾性振動を含む最大荷重推定法に関する比較計算実施

P-28 ISO18072シリーズ最終強度算式検証のための研究委員会

委員数：矢尾哲也委員長ほか13名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第2回	2010..4.16	大阪大学	14名	10件
第3回	2010..6.11	大阪大学	14名	17件
第4回	2010..7.29	広島大学	14名	13件
第5回	2010..9.14	大阪大学	15名	17件

実施事項：

- ・ISO 最終強度算式の文献調査
- ・ISO 算式の検証のためのベンチマーク計算準備
- ・ベンチマーク計算参照データとしてのシリーズ計算

P-29 船舶操縦運動予測モデルの標準化に関する研究委員会

委員数：安川宏紀委員長ほか20名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第1回	2010..7.28-29	広島大学	15名	16件

実施事項：

- ・船舶操縦運動予測モデルの整理統合と標準モデル策定
- ・流体力係数決定の手順書作成
- ・新流体力係数のデータベース作成

P-30 「次世代船舶を目指した艦装工作法の改善」研究委員会

委員数：篠田岳思委員長ほか18名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
---	----	----	------	-------

第2回 2010..7.2 三菱重工長崎造船所 19名 4件
 実施事項：
 ・改善事例の整理・分析
 ・技能伝承交流会の開催
 ・CS を目指した物造り改善、PSPC 適用の改善検討

P-32 「大型船の係船装置の設計指針」研究委員会
 委員数：荒井誠委員長ほか29名
 委員会の開催状況

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第1回	2010..10.7	川崎重工坂出	23名	3件

 実施事項：
 ・設計指針ドラフトの内容審議

P-33 「船上艤装置の多様な駆動方式の選定指針」研究委員会
 委員数：荒井誠委員長ほか29名
 委員会の開催状況

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第1回	2010..10.7	川崎重工坂出	23名	3件

 実施事項：
 ・研究計画の審議

4. ストラテジー研究委員会
 S-7 摩擦抵抗低減研究委員会
 委員数：戸田保幸委員長ほか13名
 委員会の開催状況

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第4回	2010.4.16	学会事務局	7名	5件
第5回	2010.6.25	大阪大学	9名	2件
第6回	2010.10.8	学会事務局	8名	7件

 実施事項：
 ・摩擦抵抗低減技術に関する文献調査
 ・摩擦抵抗低減効果に関する理論的検討

S-8 海洋環境戦略的管理研究委員会
 委員数：村井基彦委員長ほか14名
 委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第1回	2010.6.1	横浜国立大学	11名	2件
第2回	2010.9.14	東京大学	4名	2件
第3回	2010.10.22	IHI 豊洲	14名	2件

 実施事項：
 ・EEZ 内の熱水鉱床の可能性について調査検討
 ・熱水鉱床活用を例題とした EEZ 利用に関する法的整備状況の調査

S-9 海洋立国基本戦略委員会
 委員数：高木健委員長ほか8名
 委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第1回	2010.4.21	大阪大学	6名	8件
第2回	2010.7.30	学会事務局	7名	9件

 実施事項：
 ・海洋立国コア技術の調査

JTTC
 委員数：戸田保幸委員長ほか31名
 委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
---	----	----	------	-------

第15回 2010.6.29 大阪大学 11名 12件
 実施事項：
 ・ITTC 各委員会による技術動向に関する報告と議論
 ・EEDI (Energy Efficiency Design Index) 策定への対応
 ・ITTC 評議会/理事会の議題への対応

JSSC：
 委員数：角洋一委員長ほか20名
 委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第19回	2010.6.8	タワーホール船堀	9名	7件

 実施事項：
 ・ISSC2012 技術委員会に関する情報交換

5. 研究会
 会員相互の情報交換および技術交流を支援促進するため各種研究会を設置し、研究発表およびシンポジウム準備等の活動を実施した。現在設置の研究会は次のとおりである；推進性能研究会、運動性能研究会、材料・溶接研究会、建造革新研究会、造船設計・生産技術研究会、海洋工学研究会、海洋環境研究会、情報技術研究会。

推進性能・運動性能合同研究会
 会員：鈴木和夫会長、安川宏紀会長ほか

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第13回	2010.6.1~2	海上技術安全研究所	61名	14件
第14回	2010.10.18~19	横浜港湾福利厚生協会	59名	13件

材料・溶接研究会
 会員：粟飯原周二会長ほか29名

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第14回	2010.8.27	東京大学	21名	3件

建造革新研究会
 会員：青山和浩会長ほか39名

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第1回	2010.6.17	ユニバーサル造船	41名	6件

造船設計・生産技術研究会
 会員：荒井誠会長ほか

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第112回	2010.10.7~8	川崎重工業	23名	5件

海洋工学研究会
 会員：高木健会長ほか97名

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第14回	2010.8.3	海上技術安全研究所	17名	5件

情報技術研究会
 会員：大和裕幸会長ほか39名

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第15回	2010.5.24~25	三井造船	25名	5件
第16回	2010.9.14~15	九州大学	21名	6件

【5】学術協力
 1. Pan Asian Association of Maritime Engineering Societies (PAAMES)
 2010年12月6日~8日にシンガポールにおいて開催される第

4回 PAAMES/AMEC2010 への参画・協力を行った。

【6】共催および後援

表1-3、表1-4のとおり関連学協会の講演会・シンポジウム等に共催および後援を行った。また、42件の協賛を行った

表1-3 共催

期日	名称	共催	開催場所
2010.6.14	機械系学協会合同シンポジウム	日本学術会議	日本学術会議

表1-4 後援

期日	名称	主催	開催場所
2010.6.14	原子力発電施設の耐震構造設計の現状と展望に関する国内シンポジウム	(社)日本溶接協会	化学会館
2010.10.14~16	Techno-Ocean 2010	Techno-Ocean ネットワーク	神戸国際展示場
2010.8.26	未来を開くフロンティア人工物の展開と課題	日本学術会議 総合工学委員会	日本学術会議
2010.11.29	原子力構造機器の材料、設計、施工、検査、維持に関する講習会	(社)日本溶接協会	光の家会館

【7】支部活動

1. 東部支部

東部支部講演会運営委員会

委員数：青山和浩委員長ほか5名

回	期日	場所	出席者数
第1回	2010.5.19	学会会議室	5名
第2回	2010.8.27	学会会議室	6名
第3回	2010.10.12	学会会議室	7名

実施事項：

- ・春季、秋季講演会の運営について討議

東部支部構造研究会

委員数：鈴木克幸主査ほか46名

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第20回	2010.4.20	海上技術安全研究所	22名	4件
第21回	2010.7.13	住友重機械 ME	24名	4件
第22回	2010.10.13	IHI-MU	28名	4件

実施事項：

- ・船舶の構造・強度問題等の研究、討議

シンポジウム・講習会等の開催

(1)東部支部主催ワークショップ

期日：平成22年5月14日

場所：東京大学生産技術研究所

テーマ：「船舶の環境対策 - 海上物流の地球温暖化対策 - 」

参加者数：72名

2. 関西支部

研究運営委員会

委員数：馬場・梅本運営委員ほか9名

期日：平成22年7月6日 場所：大阪府立大学中之島フライ

期日：平成22年8月27日 場所：大阪大学会議室

期日：平成22年9月29日 場所：神戸大学会議室

関西支部講演会運営委員会

委員数：馬場委員長ほか23名

期日：平成22年7月6日 場所：大阪府立大学中之島フライ

期日：平成22年8月26日 場所：大阪大学会議室

関西船舶海洋流体力学研究会(KFR)

委員数：戸田会長・幹事10名ほか

KFR Jr. & KSSG Jr.共催 - 学生合同研究発表会

期日：平成22年5月29日

場所：大阪大学接合科学研究所 参加者80名

イブニングセミナー

期日：平成22年10月12日

場所：神戸産業振興センター 参加者17名

講演：摩擦抵抗の基礎その1 (松村清重氏)

関西船体構造研究会(KSSG)

委員数：藤久保会長ほか38名

回	期日	場所	出席者数
第1回	2010.5.13	大阪大学吹田キャンパス	21名
第2回	2010.8.20	大阪大学吹田キャンパス	19名

特別講演「計算力学を援用した材料強度評価」(堤成一郎氏)

KFR Jr. & KSSG Jr.共催 - 学生合同研究発表会

期日：平成22年5月29日

場所：大阪大学接合科学研究所 参加者：80名

海事関連教育支援・調査考究および海事資料の普及

世話人：関西シブツア 小林会長ほか幹事9名

総会・交流会 参加者：53名

期日：平成22年7月17日 場所：神戸クリスタルタワー

幹事会：平成22年5月25日、6月25日、10月26日

実施事項：教育支援活動、海友活動、翻訳活動

3. 西部支部

西部支部講演会運営委員会

委員数：後藤浩二委員長ほか14名

回	期日	場所	出席者数
第1回	2010.8.23	九州大学伊都キャンパス	14名

以降の講演会運営委員会は電子書面審議にて行った。

西部支部構造研究会

委員数：北村充主査ほか44名

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第16回	2010.5.18	パピヨン24	39名	4件
第17回	2010.9.22	グリーンヒルホテル尾道	38名	4件

第16回 2010.5.18 パピヨン24 39名 4件

第17回 2010.9.22 グリーンヒルホテル尾道 38名 4件

【1】能力開発センター

1. 能力開発センター運営委員会

- ・平成22年度は、産学ともに造船界における「技術士」「JABEE事業」「CPDポイント」の位置付けを明確にし、これらのインセンティブとメリットを生み出すことに注力した。特に、CPDについては、登録方法を簡略化し、登録数の拡大を図った。
- ・2年度目に入った教科書編纂事業を推進した。

2. 技術者資格支援委員会

委員：大和裕幸委員長ほか2名

実施事項：技術士補取得のための講習会の開催

期日：平成22年5月20日～21日

場所：日本船舶海洋工学会事務局

共催：日本マリンエンジニアリング学会、日本造船工業会

参加者：8名

講習内容：技術士一次試験の専門科目を構成する浮体の力学(八木光 東海大学)、材料・構造(川村恭己 横浜国大)、計測・制御(上野道雄 海技研)、機械とシステム(塚本達郎 東京海洋大)の4分野。

3. CPD委員会

会員の継続的能力開発(Continuing Professional Development (CPD))を支援するため「CPD BANK」(<http://www.cpdbank.com/jasnaoe/>)により以下を対象とするCPDポイント蓄積システムの運用を行った。

- 1)各種会合への参加、2)論文発表、3)各種委員会への参加、4)企業内研修およびOJT、5)技術指導、6)業務経験、7)公的技術資格の取得、8)共同研究開発プロジェクトへの参加、9)自己学習、その他
- また、日本工学会CPD協議会、機械系CPD連絡会を通して船舶海洋工学以外の工学分野とのCPD相互承認に関わる連携を保った。

4. 大学等教育支援委員会

- ・昨年度に引き続き、各大学が日本技術者教育認定機構(JABEE)による技術者教育プログラムの認定を受けるに当たって情報提供を行った。

5. 教科書編纂事業(日本財団助成事業)

若手の造船技術者を対象とした造船技術の基準となる10冊の教科書編纂事業のうち、下記の教科書3巻の編纂を行っている。

- 5)船体艤装設計
- 6)船体構造(強度編)
- 7)造船工作法

基準教科書作成委員会を平成22年6月16日に開催し、教科書原稿の執筆方針について確認した。

【2】造船技術者社会人教育

日本造船工業会、日本中小型造船工業会と共催し、第10回造船技術者社会人教育を実施した。参加者は319名。

【3】若手研究者海外派遣

国際企画委員会

委員数：重見利幸委員長ほか14名

国際企画委員会は、国際学術協力部会及び国際基準部会で構成さ

れる。平成22年度は下記の事項を実施した。

実施事項：

- ・平成22年度若手研究者海外派遣者(第3次)の選考
- ・国際学術交流ネットワークデータベースのWeb公開
- ・平成21-22年度若手研究者海外派遣報告会の開催

国際学術協力を係わる海外派遣(日本財団助成事業)

国際的視野を有する優れた若手研究者・技術者の育成を目的として平成22年度に表2-1の7名を各国に派遣した。また、平成22年11月15日、神戸市産業振興センターにて平成21-22年度における本事業の報告会を開催する。なお、本海外派遣事業は日本財団より助成を受けた。

表 2-1 若手研究者・技術者海外派遣者

氏名(所属)	テーマ
高田 龍祐 (三菱重工業)	浮体式海洋構造物に関する技術的動向の調査
堤 成一郎 (九州大学)	第10回 Int. Fatigue Cong.への参加およびヨーロッパにおける疲労研究の最新動向の調査・研究
田中 智行 (広島大学)	船体構造の構造解析法および構造評価法に関する情報収集および動向調査
五百木 陵行 (三井造船 昭島研究所)	操船シミュレータの技術動向および訓練法の調査
笈田 佳彰 (東京大学)	造船所の工作品質に関する最先端研究の調査
西 佳樹 (横国大)	ブラジルにおける深海開発の動向調査およびPRADS2010での研究発表
黒田 麻利子 (海上技術 安全研究所)	船舶についてのPOD推進器および実海域性能についての海外における現状調査

【4】海洋教育推進活動

1. 海洋教育推進委員会

開催状況：

回	期日	場所	出席者数
第1回	2010.5.7	学会会議室(全体)	17
第2回	2010.9.8	九大東京オフィス(運営)	7
第3回	2010.10.28	九大東京オフィス(東部)	7

審議事項：

- ・海洋教育フォーラム、セミナーの開催に関する件
- ・ワーキンググループの活動とフォローアップ
- ・海洋教育活動関連イベント調査
- ・他分野の海洋教育活動調査、など

海洋教育セミナー

(1) 関西地区海洋教育セミナー2010

期日：平成22年10月16日

場所：神戸国際展示場2号館3A会議室

参加者数：40名

講演数：10件

- (2) 西部地区船舶海洋セミナー
 期日：平成22年10月2～3日
 場所：常石造船
 参加者数：65名

「船の科学館」との共催イベント

小学生と保護者を対象に、船の科学館と共催で下記のイベントを実施した。

- (1) 夏休み！海と船の工作ひろば
 期日：平成22年8月9-11日
 場所：船の科学館羊蹄丸2階アドミラルホール
 内容：家でもできる水の実験の実演
 参加者数：50名

造船所見学会

- 期日：平成22年8月23日
 場所：アイ・イチ・アライリイット（横浜）
 参加者数：35名
 実施内容：船と造船所についての勉強と工場見学

2. 青少年啓蒙活動

- (1) 東部支部夏休みおもしろ船教室
 期日：平成22年8月11日
 場所：横浜シンポジア
 参加者：101人
 実施内容：おもしろ船話 / おもしろ船実験 / 乗船体験ツアー、など
- (2) 西部支部夏休みおもしろ船教室
 期日：平成22年8月28日
 場所：長崎総合科学大学シーサイドキャンパス、網場湾
 参加者：64人
 実施内容：海洋体験クルージング / ペーパークラフト教室

3. 一般向講演会の開催

造船系の大学が中心となり高校生を含む一般向けの講演会を表2-2のとおり開催した。本事業は日本造船工業会より補助金を受けて実施した。

表2-2 一般向け講演会の開催

大学	開催期日 / 場所	参加者数
横浜国立大学	平成22年7月19日、8月25日	38名
	横浜国立大学	35名
広島大学	平成22年8月7日	120名
	山口県セミナーパーク	
	平成22年9月29日 高松第一高等学校	160名
長崎総合科学大学	平成22年7月24日、25日	573名
	長崎港 平成22年10月23日 橘湾	22名
東海大学	平成22年8月21日、22日 浜松市アクトシティ	200名

4. 夏の学校

- (1) 性能・運動分野
 期日：平成22年8月27～29日
 場所：広島工業大学

- 内容：特別講義および基礎講座 その1～その2
 参加者：45名
- (2) 構造強度・材料溶接分野
 期日：平成22年9月10～12日
 場所：東京大学山中寮
 内容：構造強度・材料溶接分野に関する講義
 参加者：16名

【5】会誌発行

1. 編集委員会
 委員数：馬場信弘委員長ほか56名
 編集委員会は下記を実施した。
 ・編集全体計画および調整のため支部編集幹事による幹事会を2回開催した。
 ・特集等の企画・編集のため各支部単位の編集委員会を随時開催した。
 ・委員会の委員相互の連携促進を図るため春季講演会にあわせて全体編集会議を開催した。
 ・会誌「KANRIN」第30号、第31号、第32号を編集、発行した。

2. 刊行

日本船舶海洋工学会誌「KANRIN」第30号から第32号までの3冊を表2-3のとおり発行した

表2-3 日本船舶海洋工学会誌「KANRIN」発行

会誌・号・発行月	頁数	発行部数
KANRIN 第30号（平成22年5月）	68	5,400
KANRIN 第31号（平成22年7月）	147	5,400
KANRIN 第32号（平成22年9月）	78	5,400
計	293	16,200

【6】電子情報サービス

1. 情報管理委員会
 学会ホームページ、メールニュースおよび各種委員会活動サイトの企画、管理を実施した。
 委員数：脇山典広委員長ほか3名
- | 回 | 期日 | 場所 | 出席者数 |
|-----|-----------|-------|------|
| 第1回 | 2010.5.10 | 学会会議室 | 8 |
| 第2回 | 2010.7.21 | 学会会議室 | 9 |
| 第3回 | 2010.9.27 | 学会会議室 | 7 |

2. 実施事項：

- ・日本船舶海洋工学会ホームページの企画、管理
- ・WEBサイトのコンテンツの充実
- ・メールニュースの運用
- ・委員会活動サイトおよびメーリングリストの管理

【7】褒賞

日本船舶海洋工学会細則第74条にもとづき、学会賞等を授与した。

1. 平成22年度通常総会において、表2-4のとおり日本船舶海洋工学会賞・日本造船工業会賞・日本海事協会賞を授与した。
2. 平成22年度通常総会において、第34回船舶海洋技術賞(吉識賞)が馬場栄一君に授与された。
3. 平成22年度通常総会において、表2-5のとおり日本船舶海洋

工学会奨励賞(乾賞)を授与した。

4. 平成22年度通常総会において、表2-6 のとおり日本船舶海洋工学会賞(発明考案等)を授与した。
5. 高等専門学校等の卒業者の中から成績優秀な者に表2-7のとおり、奨学褒賞を授与した。
6. 住田正一海事技術奨励賞に当会より海中技術研究委員会編「海洋底掘削の基礎と応用」を推薦し受賞した。

表 2-4 論文賞

<p>日本船舶海洋工学会賞 日本造船工業会賞 日本海事協会賞</p> <p>論文名：延性脆性遷移温度領域における溶接残留応力場中のき裂の脆性破壊発生評価法</p> <p>受賞者：山下 洋一 (IHI) 南 二三吉 (大阪大学)</p>
<p>日本船舶海洋工学会賞 日本造船工業会賞</p> <p>論文名：気泡流中におけるプロペラ単独特性 (第1報：気泡吹出しによる局所ストローク率分布と速度分布計測) (第2報：気泡流中のプロペラ性能試験結果)</p> <p>受賞者：川島 久宜 (群馬大学) 日夏 宗彦 (海上研) 児玉 良明 (海上研) 堀 利文 (海上研) 迫田 我行 (志賀特許) 牧野 雅彦 (海上研)</p>
<p>日本船舶海洋工学会賞 日本海事協会賞</p> <p>論文名：カオス解析による作業のための歩行路環境の安全性評価に関する研究</p> <p>受賞者：田中 太氏 (九州大学) 篠田 岳思 (九州大学)</p>

表 2-5 奨励賞(乾賞)

<p>論文名：Numerical prediction of the surf-riding threshold of a ship in stern quartering waves in the light of bifurcation theory</p> <p>受賞者：牧 敦生 (神戸大学)</p>
<p>論文名：食料経済モデルによる海域肥沃化の効果の検討</p> <p>受賞者：清水 康弘 (東京大学)</p>
<p>論文名：機器配置図・系統図に基づく配管自動設計手法の開発</p> <p>受賞者：池平 怜史 (九州大学)</p>

表 2-6 発明・考案賞

<p>日本船舶海洋工学会賞</p> <p>開発名：バラ積み貨物船の可搬式船倉内点検設備「メンテさん」の開発</p> <p>受賞者：信原 真人 (株)MTI</p>

表 2-7 奨学褒賞(商船高等専門学校)

学校名	受賞者
弓削商船高等専門学校 商船学科・航海コース 商船学科・機関コース	曾我 浩征 堀川 広了
大島商船高等専門学校 商船学科・航海コース 商船学科・機関コース	浦田 数馬 AUNG KO SOE
富山商船高等専門学校 商船学科・航海コース 商船学科・機関コース	杉江 実宝 安江 陽一
鳥羽商船高等専門学校 商船学科・航海コース 商船学科・機関コース	小早川 直紀 金子 将也
広島商船高等専門学校 商船学科・航海コース 商船学科・機関コース	杉野 智 吉松 優泰

【8】シップ・オブ・ザ・イヤ-2009

平成22年6月8日、シップ・オブ・ザ・イヤ-2009 候補作品の発表会が行われ、選考委員会において下記のとおりシップ・オブ・ザ・イヤ-2009が選考され、7月20日、海運クラブにて表彰した。

- ・シップ・オブ・ザ・イヤ- 2009：「しらせ」
- ・小型客船部門賞：「にしき」
- ・大型貨物船部門：「ALEXANDRA P」
- ・漁船・特殊船部門賞：「勢水丸」

【9】支部活動

1. 東部支部

情報提供および広報活動

・メールニュースの発行：No.32号

海洋教育普及活動(青少年啓蒙活動)

- ・船の科学館主催「夏休み! 海と船の耕作実験ひろば」平成22年8月9日 11日に協力した。
- ・「夏休みおもしろ船教室」平成22年8月11日の実施を支援した。

2. 関西支部

情報システム委員会

委員数：黒龍委員長ほか6名

ホームページとメールリストの管理運用と委員会開催

期日：平成22年6月29日 場所：中央電気倶楽部

期日：平成22年9月10日 場所：大阪府立大学中之島フライ

期日：平成22年10月5日 場所：神戸大学会議室

若手技術者研修会

長谷川会長、佐田国世話人、会員8名 見学と研修会開催

期日 場所 参加者

平成22年5月19日 四国地区 7名

平成22年6月22日 岡山地区 8名

平成22年9月1日 津地区 8名

平成22年10月7日 神戸地区 7名

平成22年10月8日 三菱神戸 7名

造船資料・用具の調査・保存委員会(12条委員会)

委員数：藤村委員長ほか18名

第2回展示会開催・委員会開催

期日：平成22年6月17日 場所：神戸大学海事科学部

期日：平成22年9月24日 場所：神戸大学海事科学部

支部長賞授賞審査委員会

委員数：大塚委員長ほか6名

支部長賞の内規整備と平成22年度支部長賞候補者を推薦した。

期日：平成22年4月14日 場所：中央電気倶楽部

セミナー・講習会

期日：平成22年4月17日 場所：敦賀原子力館

講演者：神戸大学 井川博雅氏 参加者：29名

海岸清掃

期日：平成22年9月19日

「国際クワッパ・キャンプ in SUMA」 参加者：14名

広報編集委員会

回	期日	場所	出席者数
第12回	2010.4.26	九州大学箱崎キャンパス	14
第13回	2010.10.27	九州大学箱崎キャンパス	11

その他随時、電子メールによる連絡等で審議した。

議題：

・学会誌の企画・編集に関する件 / メールマガジンに関する件

電子情報委員会

・随時、電子メールによる審議を行った。

議題：西部支部メールマガジンの発行について

広報活動

メールマガジンの配信：No.29～32号

3. 西部支部

事務報告

【1】公益法人改革に関する事項

公益法人改革に対する取り組みとして下記を実施した。

- ・変更定款の作成
- ・事業区分の策定
- ・財務諸表様式の検討
- ・新法人における代議員の選挙

以上の検討により下記のとおり公益社団法人に移行した。

- ・公益認定の申請 平成22年6月26日
- ・公益認定の取得 平成22年10月27日
- ・公益社団法人登記 平成22年11月1日

【2】会合

1. 総会

平成22年度日本船舶海洋工学会通常総会を出席者60名(内委任状39名、定足数41名)のもと下記のとおり開催した。平成21年度(第113期)事業報告・同収支決算報告に関する審議、平成22年度(第114)事業計画・同予算案に関する審議事項を可決した。さらに、公益法人移行に伴う定款変更および公益法人移行に伴う代議員選出方法に関する審議事項を可決した。

通常総会

期日：平成22年6月7日

場所：東京都江戸川区タワーホール船堀

議案：

- 1) 平成21年度事業報告
- 2) 平成21年度決算報告・監査報告
- 3) 平成22年度事業計画
- 4) 平成22年度収支予算案
- 5) 公益法人移行に伴う定款変更に関する件
- 6) 公益法人移行に伴う代議員選出方法に関する件

2. 理事会

平成22年度第1回定例理事会報告

日時：平成22年5月7日 13:30～18:00

場所：日本船舶海洋工学会 会議室

出席：理事13名、監事3名、事務局2名

欠席：理事2名

主要議事：

- (1) 会員の異動に関わる審議
- (2) 公益法人認定の取り組みに関する審議
- (3) 平成21年度事業報告に関する審議
- (4) 平成21年度決算報告に関する審議
- (5) 平成22年度事業計画に関する審議
- (6) 平成22年度収支予算案に関する審議
- (7) 研究委員会の設置申請に関する審議

平成22年度第2回定例理事会報告

日時：平成22年7月21日 9:30～12:30

場所：日本船舶海洋工学会 会議室

出席：理事13名、監事1名、事務局2名

欠席：理事2名、監事2名

主要議事：

- (1) 東部・関西・西部支部報告
- (2) 会員の異動に関わる審議
- (3) 公益法人認定への取り組みに関する審議
- (4) 定款の変更に伴う代議員選挙に関する審議
- (5) 教科書編纂事業に関する審議
- (6) シンポジウム等の計画に関する審議

平成22年度第3回定例理事会報告

日時：平成22年9月17日 13:00～17:00

場所：中央電気倶楽部会議室

出席：理事10名、監事1名、事務局2名

欠席：理事5名、監事2名

主要議事：

- (1) 東部・関西支部報告
- (2) 公益法人移行申請経過状況報告
- (3) 会員の異動に関わる審議
- (4) 助成補助金の申請に関わる審議
- (5) 研究委員会の設置申請に関する審議
- (6) 特定資産取崩申請に関する審議

【3】会員の異動

1. 会員数推移

平成22年10月31日現在、会員総数は個人会員4,612名、団体員161団体、計4,773となった(表3-1)

表3-1 会員の異動

種別	前期末 (平成21年度)	平成22年 10月31日	減員	増員	増減
名誉員	35	36	3	4	1
功労員	55	52	3	0	-3
正員	4,214	4,195	116	97	-19
(内終身会員)	(866)	(842)	(24)	(0)	(-24)
(内シブ会員)	(121)	(132)	(3)	(14)	(11)
学生員	372	329	99	56	-43
団員 特級	19	19	0	0	0
1級	10	10	0	0	0
2級	12	12	0	0	0
3級	123	120	3	0	-3
合計	4,840	4,773	224	157	-67

名誉員の推薦

平成22年6月7日通常総会にて下記の名誉員を推薦した。

- 津田 尚輝(前会長 日本船舶技術研究協会)
- 浦 環(前副会長 東京大学)
- 佐田国健司(前副会長 タイセイ・エンジニアリング)
- 福島 昭二(前副会長 三菱重工業)

【4】委員の委嘱

下記のとおり新たに委員を委嘱した。

1. 論文審査委員会査読委員

山田智貴、飯島一博、間島隆博、道本順一、岡村保広、金岡京子、羽原敬二

2. 編集委員会

渡辺健太郎、千葉正幸、白木原浩、三澤真吾、柴原正和、武田尚、村田理、岡山優

3. 将来ビジョン検討委員会

田中康夫、藤久保昌彦、川村隆文、松尾真治、大坪和久、川本要次、松村竹実、遥山誠、安藤英幸、角田領

4. 能力開発センター教科書作成委員会

池田良穂、末岡英利、鈴木和夫、修理英幸、戸田保幸、藤本由紀夫、新開明二、慎 燦益、藤久保昌彦、安川宏紀、篠田岳思、大沢直樹、馬場信弘、吉川孝男、芳村康男、大和裕幸、橋本博之、中村容透、西村信一、内藤 林、奥本泰久、前川めぐみ、荻原誠功

同 執筆WG(船舶算法と復原性)

池田良穂、古川芳孝、山口悟、村井基彦、片山徹、勝井辰博

同 執筆WG(船体運動)

安川宏紀、芳村康男、柏木正、岩下英嗣

同 執筆WG(抵抗推進)

鈴木和夫、川村隆文、佐々木紀幸

同 執筆WG(船体構造(構造編))

藤久保昌彦、鈴木英之、深沢塔一、大沢直樹、吉川孝男

同 執筆WG(船体艦装)

篠田岳思、福地信義

同 執筆WG(船体構造(強度編))

藤久保昌彦、吉川孝男、大沢直樹、後藤浩二

同 執筆WG(造船工作法)

大沢直樹、奥本泰久、青山和浩、後藤浩二、嵐 康二、中山祐蔵、齊藤芳美、尾田逸人、真鍋 圭、津川博光、栗田芳郎、濱田雄二

5. 研究委員会

「次世代船舶を目指した艦装工作法の改善」研究委員会(P-30)

篠田岳思、福本峰治、宮地隆之、今村康則、笠木明、中島朋広、福本祐之、宇津木敏克、古森裕章、北野貢市、廣澤重信、八尾康正、足立浩康、八尋憲一郎、濱谷伸弘、関口喜仁、木保勝仁、金子修、高尾陽介

【5】補助金等

1. 平成21年度日本財団助成事業

造船分野における技術者育成のための教科書編纂事業
(助成金 800万円)

2. 業界補助金

当会の諸事業に下記の補助金を受けた。

日本造船工業会より 175万円

日本海事協会より 40万円

【6】関連団体との協力

1. 日本学術会議

日本学術会議が主催する講演会等に共催した。

2. 日本工学会

PDE協議会の運用等に関連して日本工学会の事業に協力した。また、事務研究委員会の活動に参画した。

3. 日本造船工業会

造船技術者社会人教育の事業、技術士資格に関わる講習会等で日本造船工業会と連携を図った。

4. 海事三学会

日本マリンエンジニアリング学会および日本航海学会との連携を目的とし、会長懇談会等を行った。また、シンポジウムの開催、技術者支援事業等、合同表彰式の開催等で連携を図った。

5. 機械系関連学会

「機械の日」関連行事に関して連携を図った。

【7】規則

平成22年度通常総会において下記を決議した。

- ・公益法人移行に伴う定款変更
 - ・定款変更に伴う代議員選挙実施に関する規則、同細則
- また平成22年度第2回理事会にて下記の内規を制定した。
- ・特定目的事業資金の運用に関する内規

【8】支部会合

1. 東部支部

総会の開催

下記のとおり第6期(平成22年度)東部支部通常総会を開催した。

期日:平成22年5月14日(金)

場所:東京大学生産技術研究所

議事:

- (1) 役員の変更
- (2) 平成21年度(第5期)事業報告および収支決算報告
- (3) 平成21年度(第5期)監査報告
- (4) 平成22年度(第6期)事業計画および収支予算案
- (5) 東部支部規則の一部改定

東部支部運営委員会

委員数:荒井支部長ほか15名

第1回東部支部運営委員会

期日:平成22年4月22日(木)

場所:日本船舶海洋工学会 会議室

主要議事:

- (1) 平成21年度事業報告および決算報告、監査報告
- (2) 平成22年度(第6期)事業計画修正案

- (3) 平成22年度第1回ワークショップ開催の件
(4) 東部支部活動活性化に関する意見交換
(5) 会員の異動

第2回東部支部運営委員会

期日：平成22年7月13日(火)

場所：日本船舶海洋工学会 会議室

主要議事：

- (1) 代議員選挙の実施について
(2) 平成22年度東部支部通常総会報告
(3) 造船工場見学、夏の工作教室
(4) 平成22年度第1回東部支部ワークショップ開催報告
(5) 会員の異動

第3回東部支部運営委員会

期日：平成22年9月7日(火)

場所：日本船舶海洋工学会 会議室

主要議事：

- (1) 平成23-24年度東部支部代議員候補者名簿について
(2) 平成22年度東部支部秋季講演会について
(3) 「学生向け海事産業へのお誘い」の実施案について
(4) 平成22年度第2回東部支部ワークショップ案
(5) 東部支部若手交流会（第5回若手研修会）について
(6) 会員の異動

東部支部会務委員会

委員数：高木委員長ほか15名

開催期日：第1回平成22年4月22日(木)

第2回平成22年7月13日(火)

第3回平成22年9月7日(火)

2. 関西支部

通常総会の開催

期日：平成22年5月14日

場所：三菱重工神戸造船所

出席者：商議員48名(委任状28名)

- 議事 (1) 平成21年度事業報告および決算報告
(2) 平成21年度監査報告
(3) 平成22年度事業計画および収支予算
(4) 公益法人化に関する報告

運営委員会

委員数：長谷川支部長ほか16名・会務委員13名

期日：平成22年4月14日 場所：中央電気倶楽部

審議事項：(1) 会員異動の了承

- (2) 平成22年度事業計画案・予算案
(3) 支部長賞
(4) 支部規則・細則改定
(5) 支部通常総会

期日：平成22年5月14日 場所：三菱重工神戸造船所

審議事項：(1) 会員異動の了承

- (2) 支部規則・細則・支部選挙手順書改定案

期日：平成22年7月20日 場所：西宮市大学交流センター

審議事項：(1) 会員異動の了承

- (2) 平成23年度商議員改選・代議員選挙の実施
(3) 海岸清掃
(4) 春季・秋季講演会

期日：平成22年9月10日

場所：大阪府立大学中之島サテライト

審議事項：(1) 会員異動の了承

- (2) 次年度以降の秋季講演会
(3) 平成23年度事業・予算方針
(4) 協賛依頼

期日：平成22年10月5日 場所：神戸大学会議室

審議事項：(1) 会員異動の了承

- (2) シンポジウム
(3) 新年特別講演会
(4) 支部長賞授賞審査委員の推薦
(5) 平成23年度事業計画・予算案
(6) 細則・内規の変更案
(7) 造船資料・用具の調査・保存委員会活動継続
(8) 協賛依頼

庶務運営委員会・会務委員会

委員数：大塚副支部長ほか7名・会務委員13名

運営委員会に関する事項を事前に検討、審議した。

会務委員会

委員数：箕浦幹事ほか12名

支部運営の総務、会員対応などに関する事項を実施した。

編集委員会関西地区会合

委員数：大沢代表幹事ほか16名

期日：平成22年4月19日 場所：新大阪丸ビル

期日：平成22年7月5日 場所：新大阪丸ビル

期日：平成22年10月19日 場所：新大阪丸ビル

3. 西部支部

通常総会の開催

期日：平成22年4月27日

場所：九州大学創造パビリオン2F(箱崎キャンパス)

議事：

- (1) 役員承認の件
(2) 第5期(平成21年度)事業報告および決算報告の件
(3) 第6期(平成22年度)西部支部事業計画および予算の件
(4) 西部支部規則・細則一部改定の件

運営委員会

第1回運営委員会

期日：平成22年4月27日

場所：九州大学創造パビリオン2F(箱崎キャンパス)

主要議事：

- (1) 講演会運営委員会報告
(2) その他 1) 講演会開催場所の件
2) 地方委員交代の件

第2回運営委員会

期日：平成22年7月30日

場所：九州大学創造パビリオン2F(箱崎キャンパス)

主要議事：

- (1) 平成22年度事業計画について
(2) 西部支部秋季講演会について
(3) 今後の講演会のあり方について
(4) その他 1) 代議員選挙管理委員推薦の件
2) その他の活動状況報告など